

河原町原っぱ

かわぐちっ子、荒川に集合！



—河原町原っぱ自然地理管理&かわぐちっ子荒川クラブ活動参加のご案内—

「かわぐち河原町原っぱ」って、どんなところ？

芝川が荒川に流れこむ芝川水門、その近くの荒川河川敷は、かつては「河原町グラウンド」と呼ばれ、広々とした空間が、広場、スポーツグラウンドとして、市民に親しまれてきました。川岸にはやヨシなどが茂り、干潮（かんちょう）時には大きな干潟（ひがた）となる水ぎわにはゴカイやカニ、オオヨシキリをはじめ季節ごとのさまざまな野鳥の姿も見る事ができる場所です。

この場所を、川口の子どもたちがもっと安全に楽しく荒川とふれあえる場所にしていこうと、2000年3月から始まったのがかわぐちっ子荒川クラブの活動です。これまでの活動で、たくさんのかわぐちっ子が集まり、水辺の生きものや荒川の自然にふれ合ってきました。

現在、この場所は「河原町原っぱ」という愛称で、もっと荒川に多くの自然が戻ってくるように、そして誰もが荒川の自然に親しめる場所になるよう、市民と行政の協力のもと、見守り、利用していこうとしています。

市民の要望を受けて2002年の春に、河原町原っぱに「原っぱ池」ができました。雨水によるこの池は、カエルやトンボ、カニなどの水辺の生きものを育み、触れ合う場所として、かわぐちっ子荒川クラブや訪れた人たちで見守っています。



活動日に用意するもの

- ・ 持ち物など：服装は、長袖、長ズボン、帽子、スタイルがベスト。飲み物も忘れずに！
- ・ 軍手（あれば）：毎回、活動のはじめには原っぱや水辺のゴミ拾いを行います。
- ・ ほかは、毎回の活動日のテーマにあわせてお知らせします。

活動日に気をつけること

- ・ 水辺は楽しい場所ですが、場合によっては危険なところもあります。荒川の流れは、潮の干満とともに水位が変わり、船の航行で大きな引き波が起きることもあります。周りの状況をよく見て、自分の行動に責任をもつと同時に、お互いに気を配りましょう。
- ・ 毎回来ると、新しい発見や楽しみが広がります。いつも荒川に“ありがとう！”

荒川・河原町原っぱ&原っぱ池の活動



毎回最初はみんなで水辺のゴミみひろい



原っぱ池の生きもの探し



原っぱでバッタを探し、そして…



荒川の干潟でエサのゴカイを採って釣り大会



玉米のホトトケーづくり



…バッタ飛ばし大会!! 飛距離を計測



原っぱ、水辺の管理作業

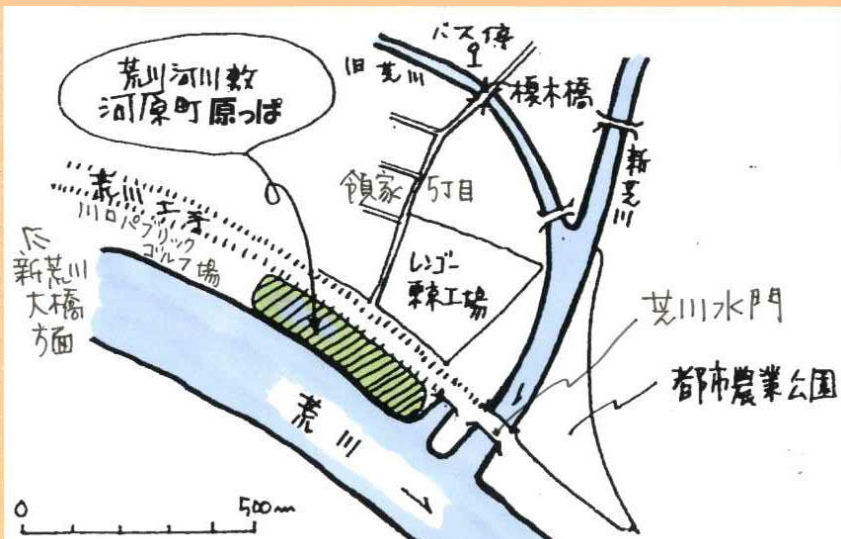


子どもは風の子!
電線のない青空で思いっきり風あげ



原っぱ池の管理作業

「河原町原っぱ」へ行こう! (案内図)



*公共交通アクセス JR 赤羽駅よりバス
赤羽駅東口 バスのりば1
【赤 23・23-3 荒川大橋経由西新井駅ゆき】
(土曜日)午前 9 時:10・35
榎木橋(えのきばし)バス停
下車徒歩10分 ※大型トラック通行注意
【赤 23・23-3 赤羽駅東口ゆき】
(土曜日)午前 11:51 12:16・41

かわぐちっ子荒川クラブ:

「かわぐちっ子荒川クラブ」は、川口市荒川市民会議「川DARAKAWAフォーラム」から生まれた市民の活動です。

埼玉県生態系保護協会 川口支部

年間を通じて、自然管理や生き物調査を行っています。
お手伝いできる方は、下記へご連絡ください!

西尾 TEL&FAX: 048-267-4948

